



足立区立西伊興小学校
校長 金田 耕一
図工科 鈴木 丈茂

パラダイムシフト

唐突ですが皆さん、プラモデルは好きですか。私と同じように、現在40～50代の保護者の方なら、少年の頃「ヤ○ト」や「ガン○ム」のプラモデルを一度は手にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。私は、今でもたまに作っています。

さて、日本でプラモデルを作っているメーカーのほとんどは、静岡県に集中しています。何故でしょう。それは、プラスチックが普及する以前、模型玩具の主流は木製模型だったからです。静岡県は木曽材の集散地であったため、家具や楽器の製造も盛んでした。その流れが、木製模型からプラモデルが主流になった現在でも続いているのです。

しかし、それまで木しか扱っていなかった人達が、プラモデルという未知の分野に突入するに当たっては、様々な苦勞と葛藤があったそうです。これまでの常識が覆される様な思いをする中、それでも改革と発展を止めなかったからこそ、メーカーが生き残ることができたという話です。

皆様もご承知の通り、それこそこれまでの常識が通用しなくなる様な日々が続いています。しかしその生活の中でも、学校は常に今やれる事を模索し、児童の豊かな成長のために活動しています。図工も同じです。今「できる」ことは限られています。だからこそ「できる」ことを児童と共に進めていきます。

※9月の授業について

当面、オンラインとの併用で授業を進めていきます。そのため、なるべくご家庭でも実施しやすい活動にしていきます。以下のように進めます。できる範囲で結構ですので、対応のお願いを致します。

- ・ 各学年、週1回の実施となります。クラス毎に時間割でご確認ください。
- ・ 基本的に、各学年とも同じ活動を行います。中学年と高学年で、活動の目当ては変えます。
- ・ 登校とオンラインで、用意する道具が若干変わります。どうしても用意できない場合は、鈴木までご相談ください。
- ・ 作品は、登校できるようになったらご提出下さい。
- ・ 予定が変更になった場合、HP等で、すぐにご連絡致します。

※次のページを児童と一緒によくご覧ください。

◎9月13日からの内容：「大好き生き物図かん」

→めあて：生き物の絵を、リアルにかこう。

○生き物を、図鑑などの写真を見て、リアルに（本物みたいに）かく。

①道具を準備しよう

※全員用意する道具

- ・2B、4Bなどのこいえんぴつ
- ・見本にする写真（図鑑など）

※オンラインの人だけが用意する道具（学校に来る人はいらぬい）

- ・画用紙などの白い紙
- 八つ切り画用紙、B4ぐらゐのコピー用紙、スケッチブックなど
ない人は自由帳でもよい。
どうしても困る人は、鈴木先生に相談してください。

②どんな生き物をかくか決めよう。

※好きな生き物の写真などを用意しよう。

- ・陸上動物、海洋動物、鳥、虫、魚、など、実際にいる動物をかく。
- ・すでに絶滅した動物（恐竜など）でもよい。
- ・見本となる写真を用意する。
→図鑑、ネットで見つけた写真、家のペットの写真、パンフレットなど

③えんぴつでスケッチをする。

- ・写真をよく見てかく
- 本物みたいにかく
- ・色はぬらぬい。えんぴつの線だけでよい。
 - ・背景（後ろの様子）はかかなくてもよい。

※くわしくは、授業の中で説明します。お楽しみに！

◎9月27日からの予告（予定がかわることもあります）

○トイレットペーパーのしんを使って人形作りをします。

※全員用意する道具

- ・トイレットペーパーのしんなど、小さくて丸いつつ
- ラップのしん、アルミホイルのしんなどでもいいです。
- ・飾りつけるための道具
- 折り紙、毛糸、モール、キラキラテープ、ボタンなど、ボンドでくつつく物
- ・木工用ボンド

※オンラインの人だけが用意する道具（学校に来る人はいらぬい）

- ・色々なマジックペン（なくてもよい）